



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

岡山県 岡山市立光南台中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
 オリンピアン自身の様々な経験を通して
 「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
 この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
 日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
 チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
 ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
 オリンピックの価値を生徒に伝え、
 オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック**：小林 祐梨子 先生（陸上競技 長距離）【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2024年10月10日(木)

■ **ク ラ ス**：2年A組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・北京2008大会に陸上競技／長距離種目で出場したと自己紹介。運動の時間では、体を動かしながらオリンピックバリューを体感してほしいと授業の目的を確認し、準備運動に移る。目を閉じたまま、その場で30秒間足踏みをしてバランス感覚を確認する運動を行った後、「じゃんけん勝ち抜け」を実施(全2回)。その後、準備体操と速く走るための姿勢を意識する練習として、適宜身体の動かし方やコツ等をアドバイスしながら実施した。

○主運動等



・主運動として「リレー」(全1回)、「バリエーションリレー」(全2回)を実施。班毎に分かれ、1回目のリレーでは全員が普通に走る。2回目以降のバリエーションリレーでは、1走は2人組になり、バレーボールを背中挟みながら走る、2走は1人でバスケットボールをドリブルしながら走る、3走は2人組になり、二人三脚で走る、4走は手足を広げジャンプしながら走る、最終走者は普通に走る、という組み合わせで着順を競う。



・運動の時間を振り返り、どの班も一生懸命に取り組み、お互いに応援し合う様子が素晴らしかった。ボールが転がってしまう等、悔しい思いをした班もあると思うが、真剣に取り組んだからこそミスが出ることもある。座学の時間では、運動の時間で感じたオリンピックバリューをさらに深掘りして一緒に考えていきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：小林 祐梨子 先生（陸上競技 長距離）【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2024年10月10日(木)

■ **ク ラ ス**：2年A組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・映像を見ながら自己紹介した後、中学校から陸上競技部に入り、大きな目標とそれを達成するための小さな目標の両方を持つことの大切さを教わった。高校は強豪校に入学し、駅伝大会での優勝を目指した。駅伝はチームで5人しか走ることができないため、他の選手はモチベーションを上げることが難しいが、全員が一丸となって取り組める目標として、駅伝での目標ではなく、3kmの目標タイムを全員で達成することを目指した結果、さらに団結力が強くなり、全国大会で優勝することができた。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：夢や目標を実現するために何ができるかを考えてみよう。

発表：エクセレンス：「毎日30分勉強する」「自分に自信を持つ」「時間を有効に使う」「挑戦する」等

フレンドシップ：「伝えたいことをちゃんと伝える」「皆に挨拶する」等

リスペクト：「真面目に取り組む」「ひとつひとつ丁寧にする」「失敗を恐れない」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューは皆の普通の生活の中にも当てはまるものが理解できたと思う。一步踏み出すことでさらに上の世界に行けたり、周りの人から背中を押してもらえた経験が今の自分を育てている。これからの人生で悩むことや選択に迷うこともあると思うが、悩んだ時にはオリンピックバリューを思い出して乗り越えてほしい。今後、さらにより良い人生を送るために、今日の授業のことを頭の片隅におきながら生活してもらえたら嬉しいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年A組



■記念品贈呈

・2年A組



■修了証贈呈

